

Kyu-Suzu-Report

<九スズ・レポート>

Kyushu Suzuki Ensemble Official Newspaper

発行 九州スズキアンサンブル
編集 九レボ編集部
連絡先 093-952-2372

2017・8・27

第35号 (不定期)

熱演！ 第8回定期演奏会開催！

九州スズキアンサンブル第8回定期演奏会が7月17日福岡市博多市民センター ホールにて開催されました。

団初演となるバルトーク、ピアノ科のお仲間とのコラボレーションによるサン＝サーンス、メンバー選曲によるアンコール曲まで、2年間の成果を精一杯ご披露させて頂きました。

(右写真：ピアノ科田中クラス、福田美優さんとのサン＝サーンス「動物の謝肉祭」。ピアノと弦楽のコラボはスズキならではの)



ご来場頂いたお客様からお寄せ頂いた「声」(アンケート)を元に各プログラム、その様子をご紹介します。

- ①鈴木鎮一／弦楽アンサンブルのためのワルツ 二短調
「この曲を聴くと鈴木鎮一先生の姿が思い浮かびます。やはりオープニングには欠かせません。」
 - ②モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジーク より第1楽章
「大好きな曲で楽しんで聴けました。ヴァイオリンの音色がとても美しいですね。」
 - ③サン＝サーンス／組曲「動物の謝肉祭」
「ピアノとのコラボ素晴らしく、打楽器で盛り上がり、ストーリー仕立てでとても良かったです。」
「チェロの方がとても頑張っておられましたね。」
 - ④バッハ／ブランデンブルク協奏曲 第3番
「現代でも感動を与えてくれるバッハの偉大さを感じた。楽器同士の呼吸感が素晴らしかった。」
「良くCDで聴き大好きな曲です。今日は生の演奏を聴けてとても幸せ。この曲が弾ける皆様、いいなあ。」
 - ⑤バルトーク／ルーマニア民俗舞曲
「迫力があり、皆さんの気持ちも入っていて全て伝わってきた。舞曲が上手に表現されていた！！」
「川本先生のご指導も受けて、完成度が高まりましたね。」
- アンコール／「真田丸」メインテーマ
「演出素晴らしい！最高のアンコールでした。」
「『真田丸』難しい曲ですが、美しい調べでした。」



動物の謝肉祭ではスライドとナレーションの演出も導入。保護者の皆さんによる打楽器も効果的に曲を盛り上げてくれました！



アンコールの「真田丸」メインテーマ。演奏前に見事な寸劇を披露してくれたお三方。それに負けず、エネルギッシュな熱演！

当日はOBの方々との共演(ワルツ)、団外のスズキの仲間との共演(ヴァイオリン科→バルトーク、チェロ科→サン＝サーンス「白鳥」)もあり、賑やかで、有意義な機会ともなりました。